

授業科目	看護解剖生理学Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1年次前期	1	講義	30時間
到達目標	1. 気道・肺の構造、呼吸運動とガス交換のしくみについて理解する。					講師 内科医師 循環器医師 内科医師(もしくは臨床検査技師)
	2. 心臓の構造と機能、血液・リンパの循環について理解する。					
	3. 生体の基本単位と構造について理解する。					
	4. 血液の成分と機能、体液について理解する。					
授業計画						
1回	呼吸器の構造					内科医師 (12時間)
2回	内呼吸・外呼吸 呼吸器と呼吸運動					
3回	呼吸器量					
4回	ガス交換とガスの運搬					
5回	肺の循環と血流					
6回	呼吸運動の調節 呼吸器系の病態生理					
7回	循環器系の構成 心臓の構造					循環器医師 (12時間)
8回	心臓の拍出機能					
9回	末梢循環系の構造					
10回	血液の循環の調節					
11回	循環器系の病態生理					
12回	リンパとリンパ管					
13回	細胞の構造組織の構造					内科医師(もしくは臨床検査技師) (6時間)
14回	血液の成分と機能造血と造血因子					
15回	体液の区分と組成体液の調節					
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 呼吸器科医師(40%)、循環器医師(40%)、内科医師(もしくは臨床検査技師)(20%) を総合して評価する					
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 呼吸器科医師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学②呼吸器 医学書院 循環器科医師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学③循環器 医学書院 臨床検査技師：系統看護学講座 専門分野 成人看護学④血液・造血器 医学書院					
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院 『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					